

# かわaura



**河浦まちづくり協議会 事務局**  
 天草市河浦町河浦  
 5253  
 天草市河浦支所まちづくり推進課まちづくり係内  
 TEL 76-1111

## ◆会長あいさつ◆

河浦まちづくり協議会長 本多常義

日頃より球技大会をはじめ各種行事に多数の皆様に参加、ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて令和元年度より「第2期河浦まちづくり計画」に基づき、①観光文化部門・世界文化遺産やコレジヨ等の歴史文化を活かした地域資源の活用、②地域振興教育部門・浦河町友好交流事業やスポーツ行事の推進、③生活環境防犯防災部門・区単位の自主防災組織設立の推進、④産業経済部門・地元産品の開発販売の推進、以上四部門の行動計画を立て取組みを進めております。

先日は明るい話題として、1591〜97年に天草地方にあったとされるキリシタンの最高学府「天草コレジヨ」が河浦町にあった事を示す古文書が、英国の大英図書館に所蔵されている事が報道されました。この話題を地域の活力に河浦町の更なる情報発信と、地域繁栄の気運を盛り上げて行きたいと思えます。今後とも、まちづくりにご協力をよろしくお願ひ申し上げます。



## たくさんの方々から「ふるさと応援寄附金」をいただきました

「河浦まちづくり協議会」に令和2年2月までに、(京都府) 濱崎様、(広島県) 大土井様、(岐阜県) 山本様、(東京都) 野口様、(千葉県) 河村様、(愛知県) 藤下様、(東京都) 鶴田様、(東京都) 石田様、(大阪府) 黒田様、(東京都) 三宅様、(熊本県) 池田様、(東京都) 三宅様、(東京都) 吉永様、(沖縄県) 中篠様、(熊本県) 濱口様、(神奈川県) 中島様、(福岡県) 吉田様ほか匿名25名の合計42名の方から140万円(純寄附金額70万5千円)のふるさと応援寄附金を頂きました。ありがとうございます。お礼品として業務委託先より天草産の黒毛和牛、プレミアムポーク、真鯛、デコポン、ひおうぎ貝、コッパ餅、生うちに、オリブ油、天草大王しゃぶしゃぶセットや晩柑などを発送しています。

寄附金は、河浦小学校6年生校外学習、崎津みなどフェスティバル、まちづくり講演会(公民館共催)、河浦地区文化祭等のイベントや、浦河町交流事業などに活用していきます。ありがとうございます。

## ふるさと応援寄付金活用事業 河浦小学校6年生「校外学習」

2月22日に、各地区振興会との共催事業として河浦小学校6年生31名の参加で校外学習が行われました。当初は熊本市内の新聞博物館での研修やスケート体験を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの感染が心配されるため、急遽、行程が変更されました。

移動のバスの中では「校外学習のしおり」が配られ、令和4年度に完成予定の第二瀬戸大橋(上島と下島間に架かる橋)の工事現場を車窓から眺めながら説明がありました。

天草ポーリングセンターではポーリングを楽しみました。初「ポーリングの子供」もいて、ボール選び、ゲームを楽しみながら笑顔を見せていました。その後の、昼食は焼肉を食べましたが最後はテーブルごと、自主的に食器をまとめていました。帰りのバスの中でも、話し声が途切れることなく、歌声も聞こえ終始にぎやかに過ごすことができました。研修コースが変更になり子供たちにとっては、とても残念だったと思いますが、校外学習を一杯楽しん

でくれた様子を見て、適応能力、順応性の高さを感じることができました。今後ともっと成長し社会人になっていく子ども達ですが、この校外学習の1日を忘れずたまには、「あの時こんな事もあったね」と言える思い出の1ページになったならと願っています。



## 第25回「かわうらエンジョイミニバレーボール大会」が開催されました！

6月9日、市民の健康づくりと親睦のため、「第25回かわうらエンジョイミニバレーボール大会」が開催され、河浦町内の区対抗戦でおこなわれ、43チーム、256人が和気あいあいと熱戦を繰り広げました。

### 【結果】

- 男子フリーの部 優勝：倉田B、  
2位：白木河内、3位：路木、上津留
  - 女子フリーの部 優勝：倉田、  
2位：下田、3位：宮野河内
  - 混合50歳以上 優勝：志茂・大川内、  
2位：葛河内、3位：白木河内
  - 混合50歳未満 優勝：葛河内区、  
2位：中村、3位：益田
- 選手の皆さんお疲れさまでした。



令和元年度 町民体育大会(地区対抗総合球技大会)成績表

総合成績	点	地区
総合優勝	30.0	上一町田
総合2位	27.0	下一町田
総合3位	26.0	宮野河内
総合4位	23.0	新合
総合5位	12.0	富津

### 種目成績

種目	1位	2位	3位
1 紳士ソフトボール	上一町田	宮野河内	下一町田
2 バレーボール	上一町田	新合	下一町田
3 ゲートボール	宮野河内	新合	下一町田
4 軟式野球	下一町田	上一町田	宮野河内
5 バドミントン	富津	宮野河内	新合
6 女子ミニバレー(40以上)	新合	上一町田	富津
7 男子ミニバレー(45以上)	下一町田	富津	上一町田
8 女子ミニバレー(フリー)	上一町田	下一町田	宮野河内
9 男子グラウンドゴルフ	新合	上一町田	宮野河内
10 女子グラウンドゴルフ	下一町田	宮野河内	新合
11 ソフトテニス	降雨ノーゲーム	降雨ノーゲーム	降雨ノーゲーム
12 アジャタ	宮野河内	上一町田	下一町田



令和元年度「地区対抗総合球技大会」が開催されました  
9月29日、河浦まちづくり協議会主催の「地区対抗総合球技大会」が河浦総合運動場を主会場に行われました。住民の親睦を深めることなどを目的に毎年開催されています。  
競技は町内5地区対抗で野球やゲートボール、バレーボール等12種目、390人の参加で競われました。総合優勝を目指し各種目が熱戦を展開。その結果、上一町田地区が総合優勝しました。



## 「古江大神宮ナイトハイク」復活！

10月13日、「古江大神宮観月ナイトハイク」が開催されました。これは「古江の里山景観を守る会」が大神宮遊歩道を45年ぶりに整備したのをきっかけに、河浦地域おこし協力隊の伊藤徳彦氏がナイトハイク復活を企画し、河浦まちづくり協議会が共催しました。参加した100人は、遊歩道コース(中上級向)と牧場入口コース(初級向け)に分かれ、自分のペースで楽しみながら歩きました。頂上では、豚汁を食べ、じゃんけん大会等のイベントで大盛り上がり。参加者は心と体も温まり楽しいひと時を過ごしていました。来年開催要望の声も多く聞かれ、大盛況で月の美しい一夜でした。



## 市役所新庁舎落成式に浦河町・浦河町議会より生花が贈呈されました。

5月26日に天草市役所新庁舎落成式が行われ、北海道浦河町と浦河町議会より新築記念祝の生花が贈呈され、併せて浦河町議会の佐々木孝雄議長他3名も落成式に出席して頂きました。



## 北海道アイヌ文化交流 in 河浦

11月24日、「アイヌ文化交流 in 河浦地区文化祭」が開催され、浦河町から浦河アイヌ文化保存会一行が来町されました。旅費等は、北海道の「アイヌ民族文化財団」より121万円の補助を受けました。文化祭では池田拓浦河町長の挨拶の後、国の重要無形民俗文化財にも指定されているアイヌの古式舞踊と、ムックリの演奏が披露されました。河浦小学校の児童、約140人も来場し「ネズミ捕りの踊り」ではネズミに扮した児童が食べ物を取ろうとする場面では会場は爆笑に包まれました。

同保存会の中田年枝さんのお子さんは3年前に河浦町でホームステイを体験し、当時のホームステイ先の松尾睦美さんと学生時代に文通をしていましたが、成人後はお互い連絡がつかず疎遠となっていました。今回の事業で中田さんは、お子さんから預かってきた手紙を松尾さんへ渡す事ができ、再会と親子で交流できたことを喜んでいました。

## 浦河町児童生徒が河浦小中学校で交流授業

北海道浦河町の児童生徒ら13人が1月8日から11日の4日間、河浦町を訪れ交流をしました。浦河町とは、明治4年に河浦町から現在の浦河町へ移り住んだ歴史があり、平成元年度から小中学校の児童・生徒の交流を行ってきました。

9日はコレジヨ館や崎津集落の視察とみかん狩りやアズレージヨ体験をし、10日の午前中は河浦小中学校を訪問。

河浦小学校では、愛夢里から近隣の児童と一緒に集団登校。「ようこそ河浦小へ」と書かれた横断幕と多数の児童が出迎えました。

河浦中学校でも一緒に授業を受け、給食を食べて交流をしました。浦河町の中学校1年生の岸田理徠（きしだりく）君は、「河浦町は歴史好きにはたまらない町。来てよかった」と笑顔で話していました。



## 【感想文】 熊本の旅をふり返って

堺町小6年 出野永汰

旅の終わり、帰りのバス。別れを惜しむ声。なぜだろう。最初はあんなに静かだったのに今じゃ友達。こんなにも名残りおしい事はそうない。それは、この旅が充実していたからだと言える。また、この旅は一期一会だと思う。僕は、今回の旅の中でたくさん思い出ができた。

一つ目は、みかん狩り体験だ。僕はみかんが大好きで楽しみでもある体験だった。みかんの切り方を教わり、いざ実戦。みかんを傷つけないように慎重にみかんを取って行った。みかん狩りが終わると農家さんのご好意によりみかんを食べさせてくれる事になった。皮をむき、一口でバクツと。そのみかんは熊本本の自然の空気と、太陽の恩恵を受けたジューシーでエネルギーがなみかんだった。みかんの酸味と甘さがベストマッチしていて、何個でも食べる事ができそうだった。みかん狩り体験は、僕の人生にとって貴重な体験になった。

二つ目は、コレジヨ館や崎津教会、熊本城といった熊本や河浦町の歴史を学んだ事だ。僕は歴史の授業を習っていて、とても興味があった。キリスト教や、加藤清正、熊本城など沢山の事を学んだ。中でも再建中の熊本城は、地震の影響で崩れ落ちた石垣の姿があったり、痛々しい光景だった。三つ目は、一番印象に残っている。それは河浦小学校への訪問だ。小学校へ入ると学校のみんなが、温かく出迎えてくれた。



河浦小学校の温かさを肌で感じた。小学校では、自己紹介や、町の紹介、音楽や算数の授業、学校探検などを行った。河浦小学校の特徴は、先ず、児童全体が元気で、明るく、温かいこと。次に、学校の服が制服なこと。最後に、毎月曲を変えながら歌を歌うことだ。楽しい時間が終わるにつれ、どんどん寂しくなってきた。河浦小学校の居心地が良くなってしまったのだ。最後は、みんなでバイバイ。とっても楽しい訪問だった。僕は、今回の旅で、熊本と北海道のちがいや、それぞれの文化の交流ができ、良かった。この経験を沢山の人に伝える事で、河浦町と、浦河町の交流の発展に繋がると良い。

### 「まちづくり講演会」を実施

8月25日に一町田「ミセン」で「まちづくり講演会」を、河浦地区公民館と河浦地区まちづくり協議会の共催で行い60人の参加がありました。講師に「水俣」の良さを国内外に広めた「スーパー県庁職員」と地元住民から呼び親しまれる緒方竜二さんをメインに、ケーキ屋を経営しながら地域支援に尽力されている笹原和明さん、ライターの木下真弓さんのお二方をお迎えし、「水俣漁師市」「えび庵」「みなまるキッチン」「紅茶四天王」など地域資源を活かす仕掛けと情報発信などを学びました。



### 河浦まちづくり協議会で先進地視察

11月28日～29日、河浦まちづくり協議会11名で球磨郡へ先進地視察研修に行ってきました。28日の視察先「まちの台所あり（錦町）」では、平成23年度より民生委員やボランティア活動をしていた5人の方が高齢者向けに弁当の配食サービスを行っており、配達の際、高齢者の安否確認も委託事業として併せて行っています。食料は地産地消に努めています。後継者がいないため、存続が厳しい現状を聞きました。29日は「下村婦人会（湯前町）」。昭和25年に創始者である山北幸さんが戦後間もない貧しい時代に、加工品を販売するなどして地域で生活を支え合うために会を発足。安全安心、地産地消による商品（漬物等）の加工と販売をしています。若い人の婦人会離れや汚れる仕事を嫌う傾向により地元だけのメンバーでは成り立たなくなっており、時代の変化に合わせて組織も柔軟に変化していく必要があると感じました。



### 協力隊、「産島」を東京でPR

2月20日に東京で開催された「感じるトレードショーrooms40 in 代々木第一体育館」が開催され、市長他5名が「天草ふるさとデザインチーム」で出展し、河浦地域おこし協力隊の伊藤徳彦氏が、「産島UPダイニング」の実施状況を主に「UPダイニング」の魅力を発表し、河浦町宮野河内の「産島」の魅力の情報発信と新たな無人島の活用について提案を行い、ブース来訪者の関心を引き付けていました。



### 編集後記

令和2年10月24～25日に宮野河内「産島八幡宮例大祭」が開催されますが、今回は「ダイードリンク」日本の祭りのテレビ番組として、RKK熊本放送やBS12チャンネルで1時間番組で放映されます。お楽しみに！  
(TK)